

56 年外国語学習について

児童アンケートに「外国語活動では習った英語を使って進んでコミュニケーションをとろうとしていますか」という項目がありました。肯定的評価の児童は75%、C:あまりできていない(16%) D:できていない(9%)と答えた児童は25%でした。

この結果を受け、児童や保護者の皆様に、改めて「外国語」の学習について、詳しくご説明したいと思います。まず、笠野小学校の56年生は、複式学級であるため、56年生の学習内容を2年間で学習することになっています。それぞれの学年の学習内容を半分ずつ(5年半分+6年半分)を、1年間で学習していくことになります。下記の表は、5年生、6年生それぞれの到達目標、つまり中学校までに「つきたい力」を表しています。

評価項目	聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと
			【やり取り】	発表	
5年生の到達目標	日常生活や身近なことについてのやり取りを聞いて、おおよその内容を理解できる。	アルファベットの活字体の大文字・小文字の名前を読むことができる。	日常生活や身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	日常生活や身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。
6年生の到達目標	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて伝え合うやり取りを聞いて、内容を理解することができる。	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて、簡単な語句や基本的な表現で書かれた英文を読んで、内容を理解することができる。	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて伝える文を、例文を参考にして書くことができる。

また、単元(ユニット)ごとにCAN-DOリストがあり、4つの評価項目において細かく到達目標が設定されています。10月4日現在、今、56年生は、5年生の単元「Unit5」を学習しています。到達目標(CAN-DO)は下記の通りです。この単元で、特にできるようにしたい評価項目は「書くこと」です。

CAN-DO リスト	聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと
			【やり取り】	発表	
5年 Unit 5 Where is the post office?	場所や位置をたずねたり答えたりするやり取りを聞いて、おおよその内容を理解できる。	アルファベットの活字体の大文字・小文字の名前を読むことができる。	場所や位置をたずねたり、答えたりすることができる。		アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。

以上のように、小学校での「外国語」も、他教科と同様に、目標をもって学習に取り組む必要があります。

先に述べた、アンケート項目は、外国語学習の評価項目「話すこと」の【やり取り】につながります。C及びDの評価をした児童にも、ユニットごとにCAN-DOリストを確認しながら必要感を持たせるとともに、楽しんでコミュニケーションをとれるように、授業改善に取り組んでいきたいと思っております。尚、ホームページには、単元配当計画と全てのユニットの「CAN-DOリスト」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。